

災害から生命、身体、財産を守るために

災害は、いつ、どこで、どのように起こるか分かりません。本町では、台風や大雨などにより急傾斜地の崩壊や河川の増水により堤防の決壊などが予想され、普段から緊急時の備えを確認し災害を最小限にする日頃の準備が重要であり、「自分のことは自分で守る」という意識を持つことが大切です。いざという時に、あわてず冷静に行動できるように、日頃から災害時の対処について家族でしっかりと確認しておきましょう。

大雨時の防災対策

テレビやラジオなどが伝える気象情報に注意しましょう。停電でテレビやラジオから情報が得られない場合は、電池を備えておき、ラジオから情報を得るようにしましょう。

1時間以上の大雨（気象情報の発表で20ミリ以上の雨）が続いたら家の周りの状況を確認しておきましょう。

河川や急傾斜地などの危険な場所には近づかないようにしましょう。

非常時の持ち出し物を早めに準備しておきましょう。

危険を感じたり、防災機関から指示があった場合には、周りの

人に知らせずに避難しましょう。

避難の際には、持ち物を最小限にし、背中に背負うなどして両手を使えるようにしましょう。

台風が来る前に

窓はしっかりとカギをかけ、必要なら補強しましょう。

側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。

テレビアンテナは支柱を確認し、必要なら補強しておきましょう。

風で飛ばされそうな物は固定しておきましょう。

非常用に食料、飲料水、懐中電灯などを用意しておきましょう。

外出はなるべく控えましょう。

地震に備えて

揺れを感じたら・・・

すばやく火の始末をしましょう。

丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。

玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。

周囲の状況をよく確かめ、あわてて外へ飛び出すことのないように落ち着いて行動しましょう。

地震後に避難する場合には、ブレーカーを切ってから避難しましょう。

緊急地震速報

平成19年10月1日から、「緊急地震速報」がスタートします。「緊急地震速報」とは、地震の発生およびその規模を素早く知り地震に

よる強い揺れが始まる数秒から数十秒前に、テレビなどで強い揺れが来ることをお知らせし、災害を軽減するための新しい情報です。

ただし、震源に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

情報発表後、揺れが到達するまでの猶予時間は長くて数十秒程度で、地震の発生した場所の近くでは、それほどの猶予がなく、場所によっては、地震の揺れのほうが早くなる場合がありますので、その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

緊急地震速報を見聞きしたときは、周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保することが大切です。とつさに適切な行動ができるよう日頃からの備えをしつかりとおきましょう。

町内の一時避難場所を確認しましょう

一時避難場所とは、災害により市街地の住宅または住宅付近にいと危険があると感じたときに、町民の皆さんがひとまず避難する場所です。自宅や職場における避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。

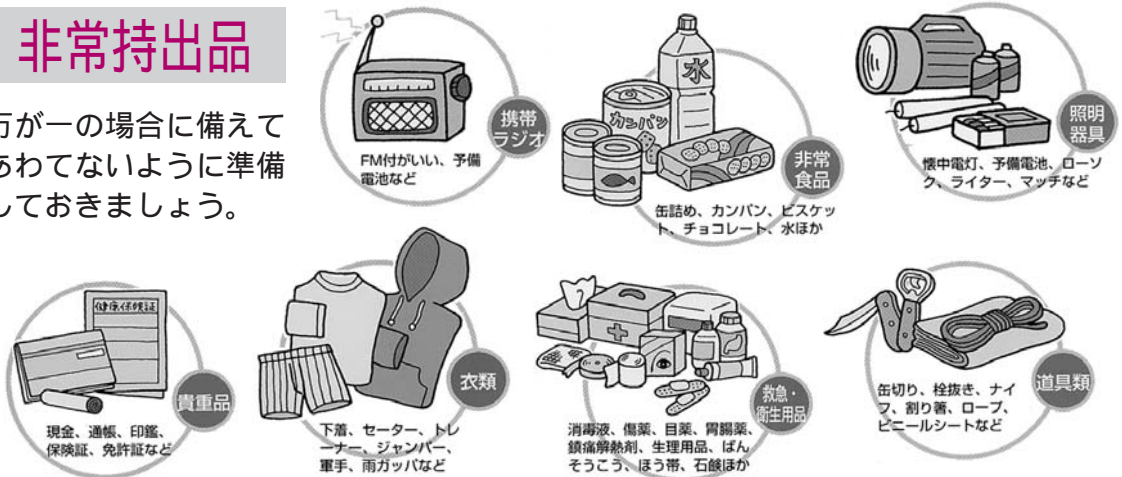
地区名	一般避難所	電話番号
北落合	北落合小学校	52-2400
落合	落合小学校	53-2423
幾寅	幾寅小学校	52-2311
	南富良野中学校	52-2410
東鹿越	地域交流センター	39-7911
	スポーツ研修センター	52-3132
金山	金山小学校	54-2521
下金山	下金山小学校	55-2050
地区名	福祉避難所 (在宅の介護者や病人を収容)	電話番号
幾寅	特別養護老人ホーム一味園	52-2919
	デイサービスセンター	39-7022
	保健福祉センターみなくる	52-2211

本町の過去の災害

- 【台風】
 - 大正11年8月24日～25日
空知川上流大水害、住宅、農作物、家畜、木材等流失、道路、橋梁、鉄道が破損する被害を受ける。
 - 昭和29年9月26日
森林倒木による大被害
- 【大雨】
 - 昭和36年7月26日
住宅（流失1戸、床上浸水9戸、床下浸水9戸）、田畑（流失埋没77.1㌔、冠水45.1㌔）、道路決壊8箇所、堤防決壊1箇所、橋梁流失3箇所、橋梁破損3箇所、甚大な被害を受ける。
- 【台風】
 - 昭和37年8月3日～4日
住宅（流失48戸、全壊9戸、半壊58戸、床上浸水212戸、床下浸水221戸）、田畑（流失埋没525.5㌔）、家畜流失（豚5頭、にわとり63羽）、道路決壊31箇所、橋梁流失破損25箇所、木材流失1,500石、災害救助法の適用を受ける。
- 昭和50年8月23日
住宅（床上浸水1戸、床下浸水10戸）、非住宅被害1戸、畑流失埋没0.3㌔、河川決壊6箇所、道路決壊3箇所、簡易水道被害1箇所
- 【集中豪雨】
 - 昭和56年8月5日
住宅（床上浸水1戸、床下浸水2戸）、農業被害119.33㌔、土木被害（市町村工事・道路11、橋梁3）土砂流出等5、ニジマス種苗施設1（被害甚大）
- 【台風】
 - 昭和56年8月23日
住宅一部破損（46世帯127名）、非住宅被害（半壊201件）、農業被害（畑101㌔）文教施設2箇所
被害総額1,446,280千円
- 【大雨】
 - 平成10年8月28日～29日
農業被害（畑6.1㌔）、排水路6箇所、土木被害（河川1、道路3、橋梁1）
被害総額88,330千円
 - 平成13年9月10日～12日
住宅（床下浸水10戸）、農業被害（田・畑76.2㌔）、土木被害（河川5、道路7、橋梁2、法面崩壊2）
被害総額104,130千円

非常持出品

万が一の場合に備えてあわてないように準備しておきましょう。



備蓄品

飲料水は1人当たり一日約3リットルの消費が目安。（3日分程度備蓄しましょう。）

